

第2回天竜川ダム再編事業佐久間ダム環境検討委員会

議事要旨

日時：令和4年8月3日（水） 13：30～15：30

場所：静岡駅 Parche7階 第1会議室

1. 第1回環境検討委員会議事要旨について

○第1回環境検討委員会議事要旨については、説明した内容で了承された。なお、別紙の記載内容について以下の修正・追記をしておくこと

- ・シカの不嗜好性植物が多く残っていることは、当該地域にシカが多く生息していることを示している。シカから環境保全措置を実施した種を保全するよう認識しておくこと。
- ・猛禽類の[]は、ヘビも捕食するので生態系模式図に加えておくこと。
- ・河川生態系の源流的な河川では、生産者となる抽水植物や藻類は少なく、有機物は主に落枝・落葉から供給されるため、生態系模式図に記載すること。
- ・昆虫類等については、[]、[]等はチョウ類でまとめ、ハエはハエ類とする。
- ・[]となっているが、画像の生育状況を見ると[]ではないように感じられる。再確認すること。

2. 環境保全措置・モニタリング方針について

○提案した環境保全措置及びモニタリング方針については了承された。なお、以下の事項について留意すること。

- ・環境保全措置の対象となる重要種の選定根拠を、章の冒頭部に記載しておくこと。
- ・[]付近は、[]も生息しているので魚類のモニタリング調査を実施する際は、留意しておくこと。
- ・残土処理場の溪流環境の修復について、瀬淵は出水による攪乱により形成されるため、具体的な検討の際は、出水時に機能する水制工を検討していく必要がある。
- ・源流部は周辺からの湧水等の影響を受けるが、このような湧水の処理について検討しておくこと。
- ・法面植生の回復については、表土の撒き出し量、採取箇所等の具体的な方法を示していく必要がある。
- ・残土処理場の環境保全措置は、〇〇委員、〇〇委員とも相談して、進めていくこと。
- ・[]については[]の発生時期と併せてモニタリングする必要がある。

3. 今後の対応について

○本委員会については、今回をもって終了することとし、今後の対応については個別のヒアリングにおいて対応することと了承された。

○本委員会の結果及び環境部会の審議を受けて、環境レポートを作成することと了承された。

○環境レポートは公開資料とし、モニタリング計画等も具体化したうえで、レポート作成時には、各委員に個別に説明し、取りまとめることと了承された。